

# 泡沫の夢

うたかた

羽衣狐陵辱地獄変

成人向

ゆく河の流れは絶えずして  
しかも、もとの水にあらず。

よどみに浮かぶうたかたは  
かつ消え、かつ結びて  
久しくとどまりたる例なし。

世の中にある、人と栖と  
またかくの如し。

・ ・ ・ 朝に死に、夕べに生まるるならい  
ただ水の泡にぞ似たりける。

・ ・ ・ いはば朝顔の露に異ならず。

或いは露なほ消えず。  
消えずといへども、夕べを待つことなし。



# 泡沫の夢

---

はて…  
これはどういう  
事じゃ鑿地蔵

事と返答次第では  
貴様とて容赦は  
せぬぞ？

ふえふえふえ  
さすがは  
羽衣狐さま…

しかし誤解  
召されるな  
これも京妖怪の  
大願成就の為…

そのような  
戯言わらわが  
信用するとも？

説明しても  
理解して頂けぬ  
と思えます故…

この手は  
使いとうなかった  
のですが…

仕方あります  
まいな





!!!



狂骨っ!

んん...

んぶっ！

んぶっ…

さもなくば…

んんんんんんんんんっ！

手駒を一つ  
失うことに  
なりますゆえ…

事が終えるまで  
羽衣狐様には  
大人しくして  
戴きとうございます

んぶっ！

くっ…  
塵地藏…

それじゃ  
狐様…  
はじめませ

カッパッ

!!!

ふへへ…  
さすが綺麗な  
おソソ…

いくつもの国の  
王を狂わせただけ  
ありますな…

く…近寄るな

この下級妖怪がっ!

ひあっ!



...

ああああっ!!





ココが宜しいの  
ですか？  
くくく

…なんたる  
屈辱じゃ…

このような  
下賤のやからに…

良いように  
扱われて…

なのに  
身体が反応  
してしま…





やれやれ  
ふうやく  
俺の番か…

随分持たせ  
やがって…



この程度で  
へばってんじゃ  
ねえぞ

本番は  
これから  
なんだから



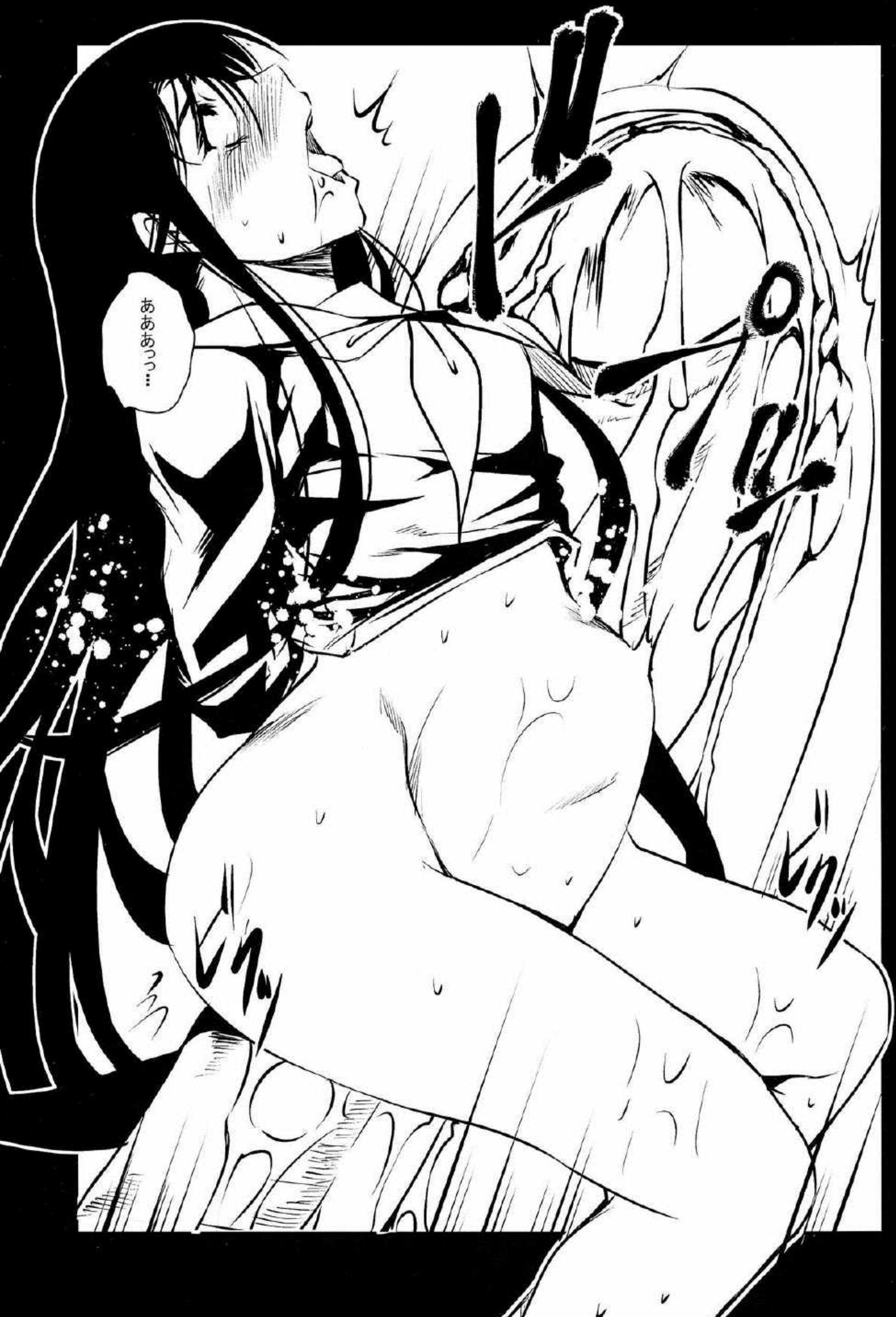
ま…待て…  
無理じゃ…

こんなモノ…  
入るわけが…











準備はできな  
き  
塵地蔵さん

ふえふえ…  
それでは  
京都中の妖怪  
どもに知らせる  
のじゃ…

「若い妖怪どもを  
集めろ」

それと…  
これより  
無知蒙昧な女に  
鶴を生ませる  
儀式を始めることな

コホコホコホ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



んぶっ…

わらわにお主らの  
精液をかける…

は、はよう出せ…  
出すのじゃ…

は、羽衣狐様…

あああ…  
これじゃ…

これが  
欲しかったのじゃ…

んぶっ…

次はここじゃ…  
ここに出すのじゃ…

妾のやや子に  
ミルクをたっぷり  
飲ませてたもれ…

羽衣狐様っ！！！！

そうじゃ…  
流しこむのじゃ…



くじくろ  
獲れちまうかな...

あは...  
ゴホ

あは...

ゴホ

ゴホ

構わん...  
飾りだけの将なら  
いくらでも替えが  
きくからう  
ふえふえふえつ...



鶴の復活こそが  
我らの宿願……

あの、女はその為の  
依代に過ぎぬからのう  
ふえふえふえ……



鶴を産み落とす  
その日まで……

せいぜい楽しませて  
貰うとするかのう……  
ふえふえふえつ……



その後の  
羽衣狐様

はあ

はあ

お主らのおかげで  
元気なやや子を  
孕んだぞ！





こゝれ…  
まだ駄目じゃぞ…

お腹の子に障る  
ではないか…

まったく…  
しょうのない奴じゃ…

一回だけじゃぞ？



# 泡沫の夢

---





# あとがき

とりあえず、最初に羽衣狐ファンの皆様  
どうもすみませんm(\_ \_)m

久しぶりの陵辱作品ってことで、ちょっと  
テンションが上がってハードにしすぎ  
ちゃいました(;'Д')

この本、もともと去年の冬コミで出す予定の  
本だったのですが、遅れに遅れてようやく  
今回出すことができました。

しかし、そのおかげで、京都編のアニメ化に  
間に合ったのは不幸中の幸いという所で  
しょうか…。

次回、夏コミですが、これまた遅れに遅れた  
謎の彼女X本を出そうかと思っております。

2011年3月17日  
天乃一水

< 奥付 >

発行:灰色工房

発行日:2011年5月1日

印刷:ねこのしっぽ

連絡先:doujin1@amanoissui.com

ゆく河の流れは絶えずして  
しかも、もとの水にあらず。

よどみに浮かぶうたかたは  
かつ消え、かつ結びて  
久しくとどまりたる例なし。

世の中にある、人と栖と  
またかくの如し。

…朝に死に、夕べに生まるるならし  
ただ水の泡にぞ似たりける。

…いはば朝顔の露に異ならず。  
或いは露なほ消えず。  
消えずといへども、夕べを待つことなし。



灰色  
工房  
HATROKOUBOU